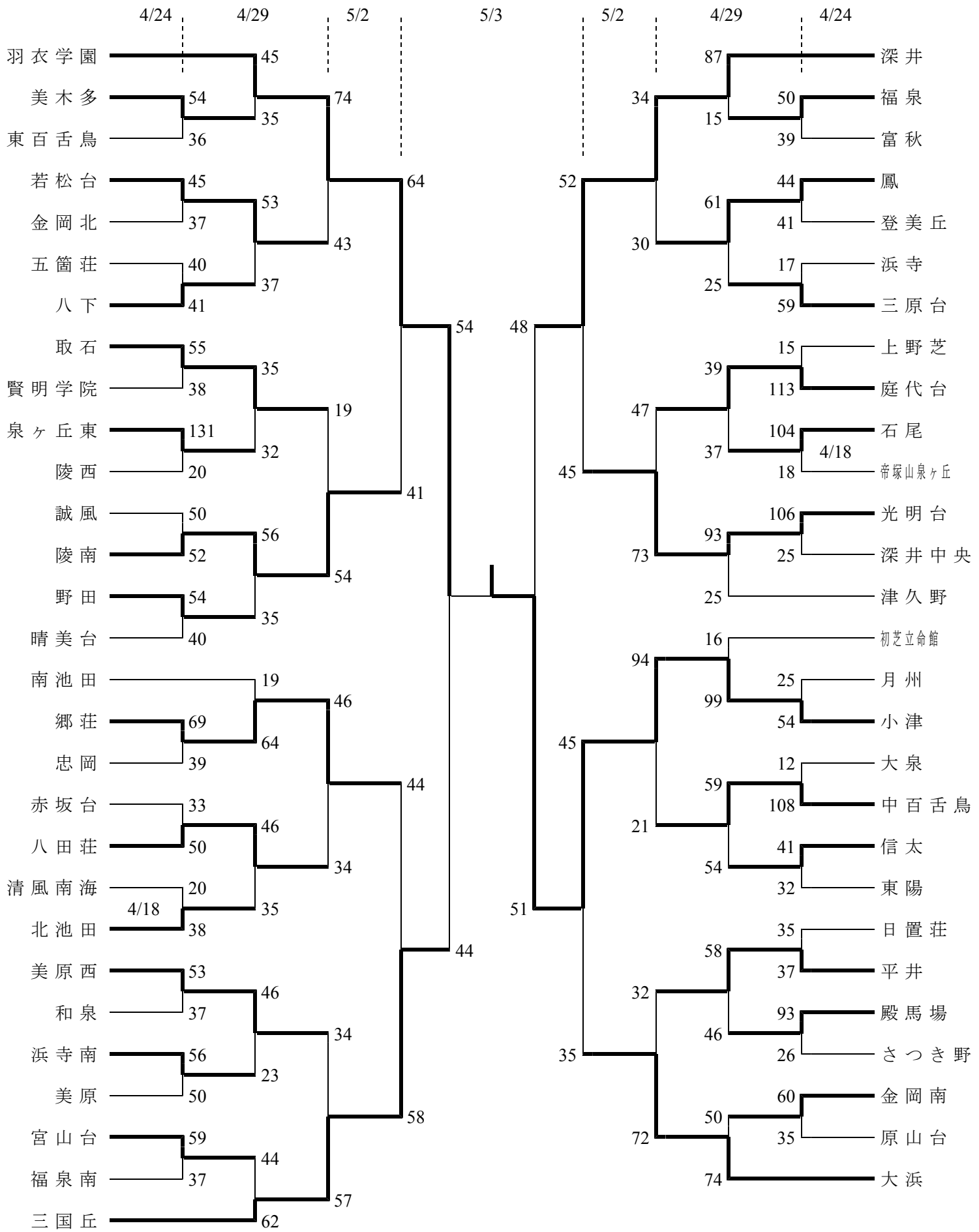


女子の部



決勝
 羽衣学園 41 - 44 小津
 9 - 9
 13 - 15
 11 - 10
 8 - 10

3位決定戦
 三国丘 52 - 51 深井

男子決勝戦評 泉ヶ丘東 60 - 54 石尾

両チームともにマンツーマンでスタート。試合の立ち上がりで石尾が⑦のテンポの速いボール運びからリズムをつかむ。また石尾 21 がゴール下でリバウンドやシュートでがんばりを見せ、開始4分で12-4とリードを奪う。その後、互いに点を取り合うが、流れは変わらず16-8で1Qを終える。

第2Qに入り、泉ヶ丘東は⑤がゴール下でがんばり、残分4で一時4点差まで詰め寄る。しかし、石尾は21のミドルショットや⑦の鋭いカットインが効果的に決まり、36-24と12点のリードをつけ前半が終了した。

後半立ち上がりも流れは変わらず、石尾が着実に得点を重ね、40-26とリードを広げる。ここで泉ヶ丘東はタイムアウトを請求する。この後、泉ヶ丘東が2-2-1にディフェンサーを変える。このディフェンサーが効果的に決まり、石尾の勢いが止まる。果敢にプレッシャーをかけた泉ヶ丘東がスティールを連発し、④を中心に一気に点差を詰め、40-37と3点差で最終Qを迎える。

4Qに入り、泉ヶ丘東が逆転に成功。その後、秒単位でリードが入れ替わる大接戦を演じた両チームであったが、泉ヶ丘東が⑦を中心にオフェンスを冷静に組み立て、リードを奪う。互いに余力を残さぬ健闘を見せるが、最後は泉ヶ丘東⑤がゴール下でがんばり、初の優勝を遂げた。

夏の大阪選手権では泉北地区の代表として、惜しみなく力を発揮してほしい。

(安慶名、佐藤)

女子決勝戦評 羽衣学園 41 - 44 小津

羽衣④⑥⑨⑪⑬、小津④⑤⑥⑦⑫で互いにマンツーマンでスタート。試合の立ち上がりは小津のアーリーオフェンスが功を奏し、リズムをつかむ。しかし、シュートがなかなか決まらない。得点こそ9-9の同点で1Qを終えるが、ルーズボールに対する強い気持ちを見せた小津に流れを感じる1Qであった。

2Qに入ると羽衣が小津のオールコートからのディフェンスにミスを重ねる。ところが、流れをつかみきれないまま、互いにシュートが決まらない時間が続く。そんな中、羽衣が連続得点を重ね、つきはなしにかかるとなる。しかし、小津も簡単には譲らず、1-2-2のゾーンプレスで羽衣を苦しめる。そこから小津が連続3Pでリードを奪って前半を終える。羽衣の1対1に対して、小津のインラインを守るディフェンスが効果的に機能していた。

後半も互いにマンツーマンでスタートする。3Qは互いに一進一退の攻防が続き、シーソーゲームのまま4Qに突入する。

4Qも互いに気持ちの表れたプレイを続ける。一進一退の攻防は最後のプレイまで続き、どちらが勝ってもおかしくない展開となる。残り19秒、2点差の場面で羽衣⑬が果敢に3Pシュートを狙うものの、おしくもはずれ、逆にフリースローを確実に決めた小津が泉北地区の優勝を飾った。

大阪選手権大会に向け、両チームとも益々精進し、泉北地区を代表するチームとして恥じない試合を期待したい。

(杉山)